

## 環境教育出張授業

4～6年生が24日（火）に、「ガスエネルギー館」から講師の方3名に来ていただき、環境問題についての授業を行っていただきました。



最初に、今問題になっている「地球温暖化」の仕組みを教えてくださいました。続いて温暖化による問題点の一例として、シロクマ（ホッキョクグマ）が絶滅に瀕している状況を映像をもとに学びました。



そして、温暖化の元になっている「CO<sub>2</sub>」の排出を減らすため、家などで気を付けることを聞きました。クーラーの設定温度を1℃上げるだけで、CO<sub>2</sub>の排出量がずいぶん減ることもわかり、家で実行しようという意識をもつことができましたようです。



次に、CO<sub>2</sub>の排出量が少なくなる天然ガスに関して、実験を交えて教えてくださいました。気体は、温度を下げると液体になることを、液体窒素を使って見せていただきました。液体窒素は非常に低温で、バラの花なども瞬時に凍り、手で粉々になってしまう様子を見せてもらい、みな驚いていました。



今回の環境に関する学習をもとに、各ご家庭でも節電など、簡単にできるエコ活動について話し合い、実践してもらえたらと思います。



## ”感謝”

現在、児童会が中心となって「ペットボトルキャップ」を集めて、アフリカなどの病気に苦しんでいる子どもにワクチンを贈るという活動を行っています。それを4年 君、2年 さんのお父さんが覚えてくださり、「会社で廃棄するペットボトルキャップが大量にあるので、使ってもらえれば」と連絡をいただきました。その数、なんと3万個、段ボール箱6箱もありました。



また、先日朝読書で使用する本の寄贈をお願いしたところ、6年 さんのお宅から60冊以上もの本を寄付していただきました。



こうして学校の取組を気に掛けていただき、協力してもらえることには、感謝の一言です。学校としてもこうした家庭、地域の協力に応えられるよう、さらにながらがんばっていきます。

